

(仮称)新九段生涯学習館基本計画検討会(第2回)

議事要旨

【開催概要】

日時:令和8年7月27日(月)午後2時00分～午後4時00分

場所:千代田区役所本庁舎6階601会議室

委員長: 国際基督教大学 教養学部 アーツ・サイエンス学科 教授 佐藤 千津

委員: 千代田区文化芸術協会 新井 巖

千代田区障害者共助会 清水 水尾

千代田区スポーツ推進委員協議会 庄司 由美子(欠席)

千代田区文化連盟 野田 健一郎

千代田区青少年委員、千代田区社会教育委員 村木 さをり

オブザーバー: 株式会社小学館集英社プロダクション(指定管理者) 2名

事務局: 地域振興部生涯学習・スポーツ課5名

【次第】

1 開会

2 議題

(1)建築計画の基本的な考え方

(2)フロア配置計画

(3)その他

3 事務連絡

今後の予定

4 閉会

【資料】

資料1 第2回(仮称)新九段生涯学習館基本計画検討会

【議事要旨】

1 開会

- 事務局 傍聴者について、1名申込みがあったことを報告。

2 議題

(1)建築計画の基本的な考え方

- 事務局 事務局より下記について説明
- ・検討会の流れ
 - ・建築計画の基本的な考え方

<意見交換テーマ1 施設計画を行うための建築計画方針について>

- A委員 九段・神田周辺は学生のまちであり、商店街とのつながりもあることから、地域の人を呼び込めるような仕組みができないか。
- B委員 多様な人々を対象とすることは重要だが、生涯学習館としてどのような人に利用してもらいたいのか、ある程度の方向性も必要ではないか。生涯学習に興味を持ち知的欲求のあるあらゆる世代を対象と考えられるのではないか。
- 事務局 施設としてどのようなコンセプトを持つかという視点が重要ではないか。
- A委員 名称をよりシンプルなものとし、若い世代を取り込めるような考え方もあるのではないか。
- A委員 施設内のどこで何をやっているのかが分かるような案内や情報発信ができるとよい。
- ◎委員長 新施設は現在よりフロア数が少なくなることが想定されており、これまでとは異なるゾーニングや動線の考え方が必要になる。
- A委員 展示やコーラス、フラダンスなど様々な活動を全体的に見られるような形にできるとよい。
- C委員 エントランス付近の交流スペースや、館内でも活動内容を映像などにより紹介することで、他の活動を視覚的に感じられるのではないか。
- また、サークル活動の成果物や千代田区に關係するグッズを販売することで、施設に足を運ぶきっかけや歴史・文化の発信につながるのではないか。
- A委員 千代田区には歴史や文化など多くの地域資源があることから、それらを活用していくことが重要である。
- C委員 利用者懇談会の出席は、運営する団体の代表者が中心となっているため、実際の利用者や今後利用したい人の意見も聞ける仕組みがあるとよい。若い世代のニーズを反映できるような仕組みも必要ではないか。
- ◎委員長 多様なニーズを把握し、変化に対応できるよう、余白や関わりしろのある空間づくりが必要である。
- D委員 若者や働く世代は夜間利用が多く、家族や子育て世代は日中の時間帯の利用が多くなる等、時間帯によってターゲット層が異なると考えられる。それぞれの利用者層を考慮した企画などを通して利用の幅が広がるとよい。
- ◎委員長 年齢や文化的背景等に関わらず利用できるインクルーシブな空間づくりが重要である。また、静かな学びとにぎやかな交流を両立するため、必要に応じて遮音設備等も

求められる。

(2)フロア配置計画

●事務局 事務局より下記について説明

・フロア配置計画

<意見交換テーマ 2-1 施設計画を行うための建築計画方針について>

フロア配置計画を行うための「ゾーニング・動線の基本的考え方」について

○C委員 フロア構成が変わることで、倉庫の使い勝手など配慮が必要ではないか。現施設では別フロアの倉庫から備品を運ぶ際に苦労した経験があり、何を収納するかや倉庫の配置、区分けなども考慮する必要がある。

○A委員 備品の搬出入を考えると、エレベーターの奥行きにも配慮が必要ではないか。現施設では入らないものもある。

○A委員 フロア配置を考えるにあたり、防火や防災、避難計画などの観点も含まれるのか。

●事務局 防火や避難計画等については、建築基準法や消防関係法令に基づき計画されるため、本検討会では主に諸室配置や利用者視点での意見をいただきたい。

●事務局 事務局より下記について説明

・フロア配置の検討とワーキング手法について説明。

<意見交換テーマ 2-2 ゾーニング図・フロア配置について>

STEP1 フロア配置について

●事務局 運動・音楽系活動エリアの配置について、上階と下階のどちらが望ましいか。

○B委員 運動・音楽系活動エリアは下階のほうがよいのではないか。

◎委員長 音や振動の影響を考えると下階がよいのではないか。

●事務局 運動・音楽系活動エリアの小部屋やスタジオも、運動・音楽系活動エリア(大部屋)と同じフロアに配置したほうがよい。

◎委員長 運動・音楽系活動エリアの諸室は同じフロアにまとまっていたほうがよい。

●事務局 座学系活動エリア(落ち着き系)は上階・下階のどちらが望ましいか。

○B委員 上階がよいのではないか。

●事務局 座学系活動エリア(にぎわい系)の配置はどうか。

○C委員 座学系活動エリア(落ち着き系)の近くに配置したほうがよい。

また、交流エリアの近くに管理諸室があったほうがよい。また、エントランス付近に管理諸室があり、事務職員が近くにいるほうが相談等もでき利用しやすいのではないか。

○B委員 交流スペースは上下階それぞれにあったほうがよいのではないか。

○C委員 大きさが違って良いから、交流スペースのようなものが上下階にあると良い。

また、共用スペースと管理諸室は同じフロアに配置したほうがよいのではないか。

●事務局 エントランスの位置や構成は現時点では未定であるが、1階に(仮称)新九段生涯学習館が配置されることは想定されず、エレベーターで上がった先の数フロアに配置される想定である。

◎委員長 諸室の配置については、ご意見を踏まえたエリア配置をもとに次の諸室配置を考えて

いきたい。

<意見交換テーマ 2-2 ゾーニング図・フロア配置について>

STEP2 諸室配置について

- C委員 舞台は可動式を想定しているのか。
- B委員 舞台は上がったたり下がったりできる仕様にはできないのか。
- 事務局 舞台の仕様については、今後の設計段階で検討していくことになる。
- C委員 可動式であれば、運動・音楽室(舞台付き、舞台なし)の配置位置に大きな影響はないのではないか。
- 事務局 運動・音楽室(小)、スタジオ、更衣室については、運動音楽室(大)と同じフロアへの配置を想定する。
- 事務局 交流エリアとしてギャラリーや談話スペースの配置をどのように考えるか。
- A委員 ギャラリーや談話スペースは上階への配置がよいのではないかと。
- B委員 創作室は上階への配置がよいのではないかと。
- ◎委員長 上下階の移動について、施設内の専用動線を設けるかどうかとも検討が必要である。
- 事務局 現在のような複数フロア構成ではなくなるため、施設内専用階段による施設の一体感を重視するか、諸室面積を優先するか等といった視点が必要になる。
- D委員 施設内専用階段については、かがやきプラザでは館内階段が設けられており、よく利用されている。
- C委員 階段を設ける場合、位置は建物の奥行きにもよるが中央付近が使いやすいのではないかと。
- D委員 階段は、エレベーターや事務所の近くに配置した方が利用者にとって安心である。
- ◎委員長 出入口を1か所とするか複数設けるかも検討が必要である。
- C委員 出入口は1か所のほうがよいのではないかと。
- オブザーバー 防犯や受付手続きの流れを考えると、出入口は1か所のほうが望ましい。
- 事務局 利用者は受付で手続きを行った後に各諸室へ向かう動線を想定している。
- C委員 他のフロアはどのような用途になるのか。
- 事務局 低層階には公共公益施設等が配置される計画と聞いている。
- C委員 楽器等の搬入時に台車を利用する場合の動線はどうなるのか。通路幅の確保が必要と考える。
- 事務局 荷物の搬出入については、共用エレベーターや非常用エレベーターの利用なども含め、今後の運用で整理されるものと考えている。
- B委員 低層階とはどの程度の階層を想定しているのか。また、オフィスとの動線やセキュリティ上の利用制限はどうなるのか。
- 事務局 低層階部分に配置される想定であり、公共公益施設とオフィス部分の動線やエレベーターについては分離されるものと考えている。
- 事務局 再開発事業計画では低層階(3階～5階)が公共公益施設とされており、その範囲で生涯学習館が配置される想定である。
- C委員 倉庫は重要であり、使いやすさへの配慮が必要である。

- B委員 サークル規模に応じて柔軟に利用できる保管スペースがあるとよいのではないかな。
- オブザーバー 現在は棚とかごを用いて各サークルに保管スペースを割り当てている。
- C委員 授乳室はエレベーターの近くに配置し、上階・下階を選ぶのであれば受付やギャラリーに近い上階が望ましい。
- 事務局 ゾーニング・動線計画に関し、交流エリアや管理諸室を近接させることや、給湯室・授乳室を管理諸室の近くに配置する考え方について意見があった。また、基本構想検討会でのご意見なども踏まえると、入り口からギャラリーや談話スペースを経由する動線とすることで、活動の見える化につながるとの意見があった。
- 倉庫や廊下の配置については、大型備品や台車の利用を想定し、運搬しやすい動線やエレベーター寸法、十分な通路幅の確保が必要との意見があった。
- また、施設内の専用階段等の動線計画については、施設の一体感の向上と諸室面積の確保とのバランスを考慮しながら検討が必要であり、階段を設ける場合は利用しやすい配置とすることが望ましいとの意見があった。
- 運動・音楽系活動エリアについては、下層階への配置が望ましいとの意見が複数あった。舞台については、可動式を含めた仕様について意見があり、設計段階で検討が必要であるとの説明があった。また、騒音対策や更衣室の配置位置についても意見があった。
- 倉庫の確保や運用方法等について十分な検討が必要であること、また運動後にも利用できる談話スペースがあるとよいとの意見があった。
- C委員 倉庫については、利用者向けのコインロッカーではなく、サークル活動で使用する備品等を保管できるスペースが必要ではないか。備品を毎回持ち運ぶことは負担が大きいため、利用団体ごとに区分けして保管できるような計画としてほしい。
- 事務局 倉庫の運用方法については、利用団体への貸出方法も含めて今後整理していく必要がある。
- (3)その他
- A委員 現在活動している団体としては今後の計画を立てる必要があるため、代替施設の状況について教えてほしい。
- 事務局 引越し時期などの詳細は未定であるが、建設期間中の代替施設の見通しが立ちつつある。場所は、新御茶ノ水駅、小川町駅、淡路町駅から徒歩3分、神保町駅からは徒歩7分圏内の場所であり、現施設より面積は減少するものの、各諸室は配置できる見込みである。再開発組合の理事会で承認されれば正式決定となる。
- 事務局 8月21日に利用者意見聴取を実施予定であり、その結果を今後の検討会で報告する予定である。
- 3 事務連絡
- 今後の予定
- 事務局 次回の検討会は9月中旬の開催を予定している。委員の日程を確認のうえ、改めて日程調整を行う。
- 4 閉会

以上